令和6年度 東京都立永福学園学校経営報告

令和7年3月31日
東京都立永福学園
統括校長 緒方 直彦

I 今年度の経営における重点テーマ

『チーム永福による「永福学園版 QSC の促進」』

肢体不自由教育部門と高等部就業技術科が併置されている特別支援学校の利点を生かし、「学校を一つの社会」と捉えるとともに、「永福学園版QSC」を全教職員が意識し、様々な教育活動等の充実、保護者・都民へのサービスの向上、清潔で安全な環境の維持徹底を図っていく。

【永福学園版QSCとは・・・】

- Q : Quality 例 : 学習内容や指導方法等の質的な向上等を図る。
S : Service 例 : HP等により都民への広報の充実を図るとともに、保護者や地域から喜ばれ評価される教育活動を推進する。
C : Cleanliness 例 : 校内全体が常に整理・整頓・清潔・清掃が行き届き、児童・生徒、教職員、保護者等が安全で過ごしやすい環境の整備を進める。

II 今年度の取組目標と具体的方策

【評価基準】学校評価等の結果を踏まえて各項目を以下の基準で評価した。

- A : 目標値等の100%以上 B : 目標値等の85%～99%
C : 目標値等の70%～85% D : 未実施、目標値等の70%未満

1 学習指導(自立活動を含む)

NO	部門	具体的な方策・取組目標 (成果指標)		評価
1	共通	方策	個別指導計画等に基づいた個に応じた適切な指導の実施	A
		目標	学校評価での保護者の学習指導に関する肯定的評価90%以上	
		結果	学習指導に関する肯定的評価 肢体：96% 就技：95% 全体：95%	
2	共通	方策	GIGAスクール、スマートスクールによるICT機器を活用した指導の実施	B
		目標	学校評価での、ICT機器を活用した指導に関する肯定的評価80%以上	
		結果	ICT機器活用に関する肯定的評価 肢体：64% 就技：82% 全体：76%	
3	肢体	方策	自立活動の目標及び具体的指導内容の適切な設定と保護者説明の実施	B
		目標	学校評価での保護者の自立活動に関する肯定的評価95%以上	
		結果	自立活動に関する肯定的評価 肢体：93%	
4	就技	方策	反転学習の促進等による各教科等の指導の充実	C
		目標	生徒の授業評価における肯定的評価80%以上 家庭学習に関する肯定的評価 70%以上	
		結果	分かりやすい授業と肯定的に回答した割合 就技：93% 家庭学習に取り組んでいると回答した割合 就技：50%	
5	就技	方策	各教科等におけるSDGsに関する指導の充実	B
		目標	生徒の授業評価におけるSDGsに関する指導・成果の肯定的評価80%以上	
		結果	生徒のSDGsに関する指導に関する肯定的評価 就技：71%	
6	就技	方策	職業に関する専門教科での確実な知識・技能等の習得及び職業及び社会人・職業人としての意識の向上	B
		目標	生徒授業評価における専門教科に関する肯定的評価95%以上	
		結果	生徒の専門教科に関する肯定的授業評価 就技：93%	

2 進路指導

NO	部門	具体的な方策・取組目標（成果指標）		評価
1	共通	方策	進路学習、現場実習、進路相談を通じた全生徒の進路希望の実現	B
		目標	高等部第3学年生徒の進路希望の実現度100%	
		結果	高等部第3学年生徒の進路希望の実現度 肢体：100% 就技：85%	
2	共通	方策	保護者に対する進路指導に関する学習会等の実施による情報提供の充実	B
		目標	学校評価での進路指導の情報提供に関する保護者の肯定的評価90%以上	
		結果	情報提供に関する保護者の肯定的評価 肢体：83% 就技：90%	
3	共通	方策	ライフキャリアの視点でのキャリア教育の充実・推進	B
		目標	保護者の学校評価でのキャリア教育に関する肯定的評価85%以上	
		結果	保護者のキャリア教育に関する肯定的評価 肢体：83% 就技：90%	
4	共通	方策	移行支援計画に基づく卒業生の追指導の実施	A
		目標	卒後1年目全進路先訪問、保護者等の求めに応じた支援会議の実施100%	
		結果	支援会議の実施率 肢体：100% 就技：100%	
5	就技	方策	生徒の希望する職種等での現場実習等の実施	A
		目標	希望達成率100%	
		結果	希望達成率100%	
6	就技	方策	進路学習及び現場実習を踏まえた（個別の）進路相談の計画的な実施	A
		目標	一人2回以上/年実施	
		結果	一人2回以上/年実施	

3 生活指導

NO	部門	具体的な方策・取組目標（成果指標）		評価
1	共通	方策	アンケート等によるいじめの早期発見・対応の徹底と計画的な教員研修の実施	A
		目標	教員研修3回以上/年実施、いじめ早期発見・対応による解決率100%	
		結果	教員研修3回/年実施 いじめ早期発見・対応による解決率 100%	
2	共通	方策	高等部全HRでの「SOSの出し方に関する指導」の実施	A
		目標	2回/年高等部全HRで実施。生命にかかわる重大事故0件/年	
		結果	2回/年高等部全HRで実施。生命にかかわる重大事故0件/年	
3	共通	方策	防災教育推進会議の検討内容を踏まえた避難訓練等の計画的な実施	A
		目標	合同避難訓練11回以上/年実施及び合同宿泊防災訓練の実施	
		結果	2校3部門合同避難訓練の実施 11回/年実施	
4	共通	方策	「SNS東京ルール」を踏まえた適切な活用のための指導の実施	A
		目標	SNSに関する事故及びトラブル0件/年、高等部全HRで1回/月指導	
		結果	SNSに関する事故及びトラブル大きな事件 0件/年 高等部全HRで1回/月指導実施	
5	共通	方策	挨拶の励行と人権に配慮した呼称、言葉遣いの徹底及び教職員研修の実施	A
		目標	全児童・生徒・教職員、教職員研修及び自己診断等の実施（3回/年）	
		結果	全児童・生徒・教職員、教職員研修及び自己診断等の 4回/年実施 「教職員倫理規定」による教員の職務に関する保護者の肯定的評価 就技94% 肢体93%。 就技生徒による挨拶週間全学年2回、教職員研修3回実施（予定）。	

6	共通	方策	表彰制度を活用した児童・生徒の学習や活動意欲の向上及び規範意識の醸成の促進	B
		目標	表彰規定該当者 延200人以上/年	
		結果	表彰者 延184人/年	

4 特別活動・その他

NO	部門	具体的な方策・取組目標（成果指標）		評価
1	共通	方策	学校行事（校外学習等）を各学習活動と関連させ計画的に実施	A
		目標	生徒・保護者による学校評価での学校行事に関する肯定的評価85%以上	
		結果	生徒の学校行事に関する肯定的評価 肢体：100% 就技：83% 保護者の学校行事に関する肯定的評価 肢体：89% 就技：88%	
2	共通	方策	社会貢献活動の計画的な実施によるボランティアマインドの醸成	A
		目標	両部門で、40回以上/年実施、地域等からの肯定的評価80%以上	
		結果	両部門で、110回/年実施、 地域等からの肯定的評価100%（地域アンケート7/7件が肯定的評価）	
3	共通	方策	文化・芸術等を通じた両部門間の校内交流の促進	A
		目標	HP等でのデジタル美術展の開催2回/年、 校内美術館の定期的な展示替え（年3回以上）	
		結果	HP等でのデジタル美術展の開催2回/年実施 校内ギャラリーの定期的な展示替え（年3回）実施	
4	共通	方策	図書コーナーを有効活用した読書活動の推進	B
		目標	年間貸出件数 1,500冊以上 保護者の学校評価における図書の整備等に関する肯定的な評価80%以上	
		結果	年間貸出件数3,100冊 保護者の図書室の整備等に関する肯定的な評価 肢体：85% 就技：42%	
5	就技	方策	各種委員会及び部活動に全生徒が参加による自発的・自主的活動の推進	B
		目標	生徒の学校生活（部活動等）に関する肯定的評価90%以上	
		結果	委員会や係活動に関する生徒の肯定的評価 就技：82%	
6	就技	方策	キャリアガイダンスの時間の指導を要とした道徳教育の実施	B
		目標	生徒授業評価等による自己肯定感・規範意識に関する肯定的評価85%以上	
		結果	キャリアガイダンスに関する生徒の肯定的評価 就技：80%	

5 安全・安心、健康づくり

NO	部門	具体的な方策・取組目標（成果指標）		評価
1	共通	方策	学習及び学校介護場面における事故防止のための教員研修の実施	A
		目標	学校評価での安全・安心・健康に関する肯定的評価95%以上 研修会3回/年実施 人為的なミスによる事故0件	
		結果	保護者の安全・安心・健康に関する肯定的評価 肢体：94% 就技：95% 研修会3回/年実施 、人為的なミスによる事故0件	
2	共通	方策	安全点検日を設けるなどして施設・設備等に関する安全管理の徹底	A
		目標	施設・設備の瑕疵等による学校事故0件	
		結果	施設・設備の瑕疵等による学校事故0件 教員の事故防止を意識した教育活動の実施 肢体：98% 就技：95% 教員の施設設備等に関する安全管理の徹底 肢体：94% 就技：98%	

3	共通	方策	家庭等と連携し基本的な生活習慣の確立及び健康の三原則（栄養・運動・休養）に関する情報を提供することなどにより児童・生徒の体力向上等を促進	A
		目標	保健便り・給食便り・生活指導等の便りの1回程度/月発行	
		結果	保健便り・給食便り等の1回程度/月発行	
4	共通	方策	養護教諭、看護師等による健康観察及び医療的ケアの適切な実施	A
		目標	食物アレルギー及び医療的ケアに関する学校事故0件	
		結果	アレルギー対策・医療的ケア委員会等の方針・対応の徹底による学校事故0件	
5	肢体	方策	スクールバス、医療的ケア専用車両の安全かつ円滑な運行	B
		目標	スクールバス関係での事故件数0件 保護者の負担軽減に関する肯定的評価90%以上	
		結果	S B、医ケア専用車両運行に関する保護者の肯定的評価 74%	
6	就技	方策	生徒の心身の健康管理、事故及び体罰防止を徹底した部活動等の実施	B
		目標	生徒の学校評価等における部活動に関する満足度90%以上 部活動における指導等に関する研修 2回/年実施	
		結果	生徒の部活動に関する満足度についての肯定的評価 就技：82% 部活動における指導等に関する研修 2回/年実施	

6 広報、地域交流、地域支援等

NO	部門	具体的な方策・取組目標（成果指標）		評価
1	共通	方策	ホームページを有効活用した情報発信	B
		目標	学校評価における保護者のHPに関する肯定的評価90%以上	
		結果	保護者のHPに関する肯定的評価 肢体：77% 就技：92%	
2	共通	方策	地域交流・学校間交流及び社会貢献活動等の地域と連携した教育の充実	A
		目標	地域交流・学校間交流、社会貢献活動の充実 両部門で40回以上/年実施	
		結果	社会貢献活動：両部門：50回実施	
3	肢体	方策	副籍制度による交流及び共同学習等の実施	A
		目標	交流及び共同学習の希望者全員実施（100%）	
		結果	希望者全員実施、副籍制度に基づく直接交流希望者の増加 35人（100%）	
4	就技	方策	高等学校の発達障害教育等に関する支援の強化	A
		目標	情報交換会 各校2回/年実施	
		結果	情報交換会2回/実施、相談件数 28件	
5	就技	方策	関係教育委員会及び特別支援学校等と連携した募集活動の実施	A
		目標	応募倍率：1.2倍以上	
		結果	応募倍率：1.28倍	
6	就技	方策	各種説明会（学科説明会等）の充実と中学校及び保護者等への情報提供（個別相談等）の実施	A
		目標	入学者選考の個別相談件数 200件以上/年	
		結果	入学者選考の個別相談実施件数 215件/年	

7 学校運営・組織体制

NO	部門	具体的な方策・取組目標（成果指標）		評価
		方策	目標	
1	共通	方策	センター契約による効率的な予算の執行	A
		目標	一般需用費のセンター契約率60%以上	
		結果	一般需用費のセンター契約率66%	
2	共通	方策	電子決済等によるペーパーレスの徹底	A
		目標	電子決済率 100%	
		結果	電子決済率 100%	
3	共通	方策	定時退庁日、学校閉庁日の設定等による超過勤務時間の削減	B
		目標	全教職員の年間での平均超過勤務時間25時間以下/月	
		結果	全教職員の年間での平均超過勤務時間29.4時間/月（45.5時間/年）	
4	共通	方策	教職員の心身の健康の保持・促進	B
		目標	健康診断受診率100%及び要医療者の確実な医療機関の受診	
		結果	健康診断受診率91%	
5	共通	方策	全教職員の服務規範意識の向上	A
		目標	服務事故防止研修3回以上/年実施、服務事故0件	
		結果	服務事故防止研修3回以上/年実施、服務事故0件	
6	共通	方策	クリーンデスクと適切な個人情報管理の徹底の為の環境整備日の設定	A
		目標	クリーンデスクチェック1回/週、環境整備日1回/月 クリーンデスクに関する教員の肯定的評価90%以上 個人情報紛失等の事故0件	
		結果	クリーンデスクチェック1回/週実施、環境整備日1回/月実施 クリーンデスクに関する教員の肯定的評価 肢体：94% 就技：88% 個人情報の紛失事故0件	

Ⅲ 令和7年度の学校経営の重点及び方針

令和6年度の学校評価等の結果を踏まえ、引き続き、以下の重点事項を促進・充実させることにより、学校の魅力化・特色化を図る。

1 新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の徹底

- (1) ICT機器を活用した更なる授業改善
- (2) 反転学習など、主体的に学びに向かう態度の育成
- (3) 2020オリパラ学校レガシーとしての社会貢献活動・地域学習等の充実
- (4) 教科による系統的な指導の充実
- (5) 教科横断的な取組の充実（例：普通教科と専門教科の関連）

2 人権や児童・生徒の意見を踏まえた教育活動の更なる充実

- (1) いじめの早期発見、対応の引き続きの徹底と家庭や専門家と連携した指導の充実
- (2) 児童・生徒への意思決定支援の充実
- (3) 児童・生徒の教育部門間交流の促進

3 安全・安心、健康を重視した教育活動の促進

- (1) 医療的ケア等の適切な実施（校外学習における保護者の付き添い負担軽減の促進等）
- (2) 部活動の指導に関する研修の実施
- (3) 児童・生徒の安全・安心及び教職員の業務の効率化のための環境整備の徹底
- (4) 2校3教育部門合同での実際を想定した避難訓練等の実施